

(様式6)

公共事業新規箇所評価調書

評価確定日(平成28年 8月 4日)

事業コード	H28-建-新-06	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業	部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防堰堤工	班 名	砂防防災班 (tel)018-860-2518
路線名等	滝ノ沢2ほか3溪流	担当課長名	河川砂防課長 小野 久喜
箇所名	由利本荘市赤田	担当者名	主幹(兼)班長 阿部 透
プランとの関連	政策コード	01	政 策 名 県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名 健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名 地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づくり

1. 事業の概要

事業期間	H29～H36（ 8年）		総事業費	7.1 億円		国庫補助率	1／2																																																																																	
事業規模	○ 砂防堰堤5基（H=5.5m～9.0m L=50m～102m） ○ 管理用道路5カ所（W=4.0m）																																																																																							
事業の立案に至る背景	○ 当溪流は由利本荘市赤田地内に位置し、保全対象として人家16戸、県道本荘岩城線（避難経路）、公民館（2戸）、寺院（1戸）を抱える土石流危険溪流である。 平成25年7月13日の梅雨前線に伴う集中豪雨により当溪流では山腹崩壊・溪岸侵食が進行し、保全人家間近まで土砂が流出する被害が発生した。 当流域内は荒廃が進行し、不安定土砂が堆積しており、豪雨等により土石流が発生した場合、人家・公民館等に甚大な被害が発生する恐れがある。 砂防施設を整備することにより、土砂災害から人命・財産を守るため、新規事業箇所として要望するものである。																																																																																							
事業目的	【主たる目的】 ○ 砂防施設の整備により、下流にある人家や重要公共施設を保全し、安全・安心な地域の創出を図る。 【保全対象】 ○ 人家16戸 ○ 県道本荘岩城線（避難経路） L=590m ○ 公民館2戸 ○ 寺院1戸																																																																																							
事業費内訳 事業内容 （単位：千円）	<table><tr><td colspan="2"></td><td>全</td><td>体</td><td>H29年度</td><td>H30年度</td><td>H31年度</td><td>H32年度以降</td></tr><tr><td>事業費</td><td></td><td>705,000</td><td></td><td>40,000</td><td>62,000</td><td>90,000</td><td>513,000</td></tr><tr><td>経費工事費</td><td></td><td>518,000</td><td></td><td></td><td>40,000</td><td>60,000</td><td>418,000</td></tr><tr><td>内訳用補費</td><td></td><td>35,000</td><td></td><td></td><td>12,000</td><td></td><td>23,000</td></tr><tr><td>財源その他</td><td></td><td>152,000</td><td></td><td>40,000</td><td>10,000</td><td>30,000</td><td>72,000</td></tr><tr><td>内訳県庫補助</td><td></td><td>352,500</td><td></td><td>20,000</td><td>31,000</td><td>45,000</td><td>256,500</td></tr><tr><td>内訳県債</td><td></td><td>317,200</td><td></td><td>18,000</td><td>27,900</td><td>40,500</td><td>230,800</td></tr><tr><td>内訳その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>一般財源</td><td></td><td>35,300</td><td></td><td>2,000</td><td>3,100</td><td>4,500</td><td>25,700</td></tr><tr><td>事業内容</td><td></td><td></td><td></td><td>地形測量等 詳細設計</td><td>用地補償 砂防堰堤工</td><td>砂防堰堤工 詳細設計</td><td>他3溪流 設計・堰堤工</td></tr></table>										全	体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降	事業費		705,000		40,000	62,000	90,000	513,000	経費工事費		518,000			40,000	60,000	418,000	内訳用補費		35,000			12,000		23,000	財源その他		152,000		40,000	10,000	30,000	72,000	内訳県庫補助		352,500		20,000	31,000	45,000	256,500	内訳県債		317,200		18,000	27,900	40,500	230,800	内訳その他								一般財源		35,300		2,000	3,100	4,500	25,700	事業内容				地形測量等 詳細設計	用地補償 砂防堰堤工	砂防堰堤工 詳細設計	他3溪流 設計・堰堤工
		全	体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降																																																																																	
事業費		705,000		40,000	62,000	90,000	513,000																																																																																	
経費工事費		518,000			40,000	60,000	418,000																																																																																	
内訳用補費		35,000			12,000		23,000																																																																																	
財源その他		152,000		40,000	10,000	30,000	72,000																																																																																	
内訳県庫補助		352,500		20,000	31,000	45,000	256,500																																																																																	
内訳県債		317,200		18,000	27,900	40,500	230,800																																																																																	
内訳その他																																																																																								
一般財源		35,300		2,000	3,100	4,500	25,700																																																																																	
事業内容				地形測量等 詳細設計	用地補償 砂防堰堤工	砂防堰堤工 詳細設計	他3溪流 設計・堰堤工																																																																																	
調査経緯	平成25年度 県単砂防事業 砂防流域調査業務 平成28年度 県単砂防事業 予備設計業務																																																																																							
上位計画での位置付け	○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランにおける基本政策「県土の保全と防災力強化」を推進																																																																																							
関連プロジェクト等	○ 特になし																																																																																							
事業を取り巻く情勢の変化	○ 平成25年7月13日に、滝ノ沢5溪流で土石流が発生し、保全人家裏まで土砂が達しており、土石流災害の危険度は非常に高い。 ○ 平成26年8月に広島県で発生した土石流災害など、近年は全国的に土砂災害が頻発しており、ハード・ソフト一体となった対策が急務となっている。																																																																																							
事業効果把握の手法	<table><tr><td>指標名</td><td colspan="7">土石流危険溪流に対する概成率（％）</td></tr><tr><td>指標式</td><td colspan="7">対策済み溪流数／土石流危険溪流数（％）</td></tr><tr><td>指標の種類</td><td colspan="3">○ 成果指標</td><td colspan="2">● 業績指標</td><td>低減指標の有無</td><td colspan="2">○ 有 ● 無</td></tr><tr><td>目標値 a</td><td colspan="3"></td><td colspan="2">16.6 %</td><td>データ等の出典</td><td colspan="2">河川砂防課調べ</td></tr><tr><td>実績値 b</td><td colspan="3"></td><td colspan="2">16.5 %</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>達成率 b／a</td><td colspan="3"></td><td colspan="2">99.4 %</td><td>把握の時期</td><td colspan="2">平成28年 3月</td></tr></table>								指標名	土石流危険溪流に対する概成率（％）							指標式	対策済み溪流数／土石流危険溪流数（％）							指標の種類	○ 成果指標			● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無		目標値 a				16.6 %		データ等の出典	河川砂防課調べ		実績値 b				16.5 %					達成率 b／a				99.4 %		把握の時期	平成28年 3月																													
指標名	土石流危険溪流に対する概成率（％）																																																																																							
指標式	対策済み溪流数／土石流危険溪流数（％）																																																																																							
指標の種類	○ 成果指標			● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																																	
目標値 a				16.6 %		データ等の出典	河川砂防課調べ																																																																																	
実績値 b				16.5 %																																																																																				
達成率 b／a				99.4 %		把握の時期	平成28年 3月																																																																																	

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○ 土石流が発生した場合、人家のみならず、県道本荘岩城線（避難経路）が被災し、赤田地区等の住民が避難所へ移動することが困難になるため、事業の必要性は高い。 ○ 第2期ふるさと秋田元気創造プランの施策を直接的に推進する内容の事業である。 ○ 砂防法第5条により工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。	27点
緊 急 性	○ 流域内は斜面勾配が急で、流域内において崩落土砂が堆積しており、豪雨が発生した場合には土石流が発生する危険性が高いため、早急な整備が必要である。	32点
有 効 性	○ 施設を整備することにより、土石流災害から人命や財産が守られ、下流域の安全性が短期間に確保される。 ○ 土石流渓流の整備率向上に直接寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。	10点
効 率 性	○ 事業の費用便益比は 2.81 であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 6.23 億円 ・総便益の現在価値 17.49 億円 ○ 事業実施においては、残存型枠使用によるコスト削減等の検討を行う。	15点
熱 度	○ 平成25年の滝ノ沢5渓流での土石流発生を受け、地元住民の防災意識が高く、合意形成がなされている。 ○ 由利本荘市でも土砂災害等への危機管理意識が高く、事業への必要性を認識している。	10点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) 多くの項目において評価点が高く、住民の生命・財産だけでなく、重要公共施設を保全するため必要性が高い。	94点
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 各観点の評価結果から、事業実施箇所として優先度が高く、事業を実施すべきだと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該地区は保全対象に人家16戸、県道、公民館、寺院を抱える土石流危険渓流である。平成25年7月の集中豪雨により、当該地区では山腹崩壊・溪岸侵食が進行し、保全人家間近まで土砂が流出する被害が発生した。 当流域内は荒廃が進行し、不安定土砂が堆積している。 そのため、砂防事業の必要性及び緊急性が高いほか、有効性、効率性も高いことから、1次評価における事業実施の総合評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意 見 内 容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該地区は保全対象として人家16戸、県道、公民館1戸、寺院1戸があるほか、平成25年度に土砂流出が発生し、現在も不安定土砂が堆積していることから、事業実施の必要性は認められる。 砂防堰堤工において堰堤の設置数や残存型枠施工等の採用を検討するなどコスト縮減についても検討されている。	

5. 最終評価（新規箇所選定会議）

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

計画的な実施に務める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 砂防事業

事業コード (H28-建-新-06)
箇所名 (由利本荘市赤田)

1. 評価内訳

観 点	評価項目 細別	評価基準	配 点	評価点	摘 要
必要性	災害発生時の影響（被害想定）				
	人家戸数	2 0 戸以上	10	7	人家 1 6 戸
		5 戸～1 9 戸	7		
		1 戸～4 戸	3		
		0 戸	0		
	公共・公益施設	以下に挙げる公共・公益施設がある 災害時要援護者関連施設 重要交通（緊急輸送道路、避難路、鉄道等） 防災拠点（警察、消防、役場等） ライフライン施設（電力、ガス、水道等） 利用者多数（学校、駅舎等）	10	10	県道本荘岩城線（避難経路、バス路線） 公共・公益施設（赤田下公民館、東光館、赤田の大仏）
		公共・公益施設がある	5		
		な し	0		
	事業の必要性				
	県関与の必要性	法令等で県が実施する事業	5	5	砂防法第 5 条により、県が施行する工事
		県が実施すべき広域的な事業	3		
		県が実施した方が望ましい事業	1		
	流域の整備状況				
	砂防設備の整備状況	未整備	5	5	
		低い（土砂整備率 3 0 % 以下）	3		
		低い（土砂整備率 3 0 % 超）	1		
	計		30	27	
緊急性	災害実績				
	過去の災害発生履歴	過去に災害の発生した記録がある	10	10	平成 2 5 年 7 月の梅雨前線豪雨により滝ノ沢 5 溪流で土石流が発生し、保全人家裏まで土砂が到達した
		過去に災害の発生した痕跡や情報がある	5		
		な し	0		
	災害発生の危険度				
	想定される流出土砂量	1 0 0 0 m 3 以上	7	7	計画流出土砂量 6, 710m3
		1 0 0 0 m 3 未満	3		
	想定される流出流量	2 0 m 3 以上	6	3	計画流出流量 17m3
		2 0 m 3 未満	3		
	荒廃面積	流域面積の 1 0 % 以上	6	6	荒廃率 10. 45%
		流域面積の 1 0 % 未満	3		
	河床堆積、溪岸侵食状況	破砕帯、火山噴出物地帯、花崗岩地帯、第三紀層地帯	6	6	第三紀層
		その他	3		
	計		35	32	
有効性	上位計画への貢献				
	ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5	「県土の保全と防災力強化」を推進する事業
		プランとは別の個別計画に関連する事業である	3		
		プラン、個別計画に関連しない事業である	0		
	ソフト対策との関連性				
	公表周知している情報の内容	土砂災害防止法に係る基礎調査	5	5	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定（牛寺沢 1：H21. 10. 30）（その他：H23. 1. 14）
		土砂災害危険箇所マップ等	3		
		な し	0		
	計		10	10	
効率性	費用対効果				
	B / C	1. 0 以上	10	10	B/C 2. 81
		1. 0 未満	0		
	事業実施コストの縮減				
	コスト縮減の具体的計画	あり	5	5	残存型枠施工等の採用を検討して縮減を図っている
		な し	0		
	計		15	15	
熟 度	事業着手の熟度				
	地元のニーズ	文書要望あり	5	5	由利本荘市からの要望書あり
		口頭要望あり	3		
		な し	0		
	関係自治体等との合意形成	合意形成が済んでいる	5	5	地元及び地権者の了解済み（H27. 12. 2説明会）
		合意形成がなされる見込みである	3		
		合意形成がなされていない	0		
	計		10	10	
合 計			100	94	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	8 0 点以上	I	
II	優先度が高い	6 0 点以上～8 0 点未満		
III	優先度が低い	6 0 点未満		